いろいろな訓練（その2）

先月に続き
訓練に関する回覧です。
イザというときに
とっさには動けません。
訓練で少しでも動ける
ようになりたいものです。

初期消火訓練

火災は初期の段階で消火すれば、被害を小さく抑えることができます。そのために、最も身近で簡単な家庭用消火器から、スタンドパイプや可搬式消防ポンプなどの消火器具・資機材の使い方を学びます。

身体防護訓練

地震が発生したら身の安全が最優先。起震車などで揺れを体験したり、落下物などから身を守るための訓練を受けることができます。揺れを感じたときだけではなく、緊急地震速報を受信したときの身の守り方も学べます。

出火防止訓練

出火させなければ被害を防げます。出火防止訓練では、出火を防ぐための行動について学びます。揺れが収まってから落ち着いて火を消すことや、避難するときには電気やガスを元から切るなど、出火防止方法を学びます。

「東京都発行『東京防災』P132，31より」

通報連絡訓練

火災、救急・救助、地震発生の災害について、消防機関に正しく通報するための訓練です。119番通報のやり方や、電話の種別による通報時のポイントを学びます。

救出・救助訓練

建物の倒壊などによって逃げ遅れた人を、身近な器具を活用して救出するための方法を身につけます。あわせて、救助した人に対する応急手当のやり方についても学びます。

避難訓練

火災、地震などの災害時に、安全に避難するための訓練です。避難するために必要な備えや避難方法のほか、煙体験ハウスなどを活用して煙の性質などを学びます。

応急救護訓練

緊急事態に適切な応急手当を行うには、日頃から応急手当に関する知識と技術を学び、身につけておく必要があります。応急救護訓練では、いざというときのための応急手当の方法を学びます。